

ロータリー奨学金 第3回報告書 (期間: 2025 年 2 月 1 日 ~ 2025 年 4 月 30 日)

総括

本期間は、ミシガン大学ロス・スクール・オブ・ビジネスにおけるコンサルティングプロジェクト「MAP (Multidisciplinary Action Project)」に多くの時間を費やしました。プロジェクトは7週間にわたってフルタイム（週40時間）で実施され、実際のクライアントに対して提案を行う実践型の学習機会です。これまでに学んできた知識やスキルを実務に応用する貴重な経験となりました。

アカデミック状況

2025 年 1 月より始まった Winter Term は、Winter A（講義受講期間）と Winter B（MAP プロジェクト期間）に分かれて構成されています。

MAP (Multidisciplinary Action Project) とは、ミシガン大学ロス・スクール・オブ・ビジネスの必修プログラムで、学生が企業・団体を実際のクライアントとして7週間フルタイムで戦略提言や課題解決を行う実践型のコンサルティングプロジェクトです。

Winter B 期間中、私は5名のチームで「Ann Arbor Equity Land Trust」という地域団体をクライアントとするプロジェクトに参加しました。この団体は「Community Land Trust (CLT)」と呼ばれる、土地を信託管理することで住居の永続的な価格抑制を目指すモデルの実現を支援しており、私たちは財務面の提言を中心に戦略を立案しました。

当初は不動産開発をメインテーマとしたプロジェクトを想定していましたが、直前にクライアントが変更となり、急ぎょ Affordable Housing（手頃な価格の住宅）に関連する社会的課題を扱うプロジェクトに切り替わりました。柔軟な対応力とリサーチ能力が求められる状況でしたが、非常に学びの多い体験となりました。

この MAP プロジェクトはロス MBA の名物とも言われており、授業で得た知識を活かして実際のクライアントと英語で交渉し、成果物を提出する経験は、語学力の向上はもちろん、実務的なコンサルティング力やチームでの協働力を高める絶好の機会となりました。

学校生活とカルチャー

キャンパス内では引き続き、多様なバックグラウンドを持つ学生たちと有意義な関係を築いています。授業外のディスカッションや交流を通じて、多文化環境の中での相互理解を深める機会に恵まれています。国際的な視野を持つ仲間たちとの関わりが、今後の人生とキャリアの方向性にも大きな影響を与えてくれていると感じています。

キャリア活動

今後のキャリアとして関心を寄せている観光・ホスピタリティ業界に向けて、引き続きネットワーキング活動を行っています。業界内で活躍するプロフェッショナルとの情報交換を通じて、現場で求められるスキルやグローバルトレンドについて理解を深めるとともに、将来的なインターンや就職の機会獲得に向けて積極的に準備を進めています。

おわりに

引き続き、貴重な学びの機会を与えてくださっているロータリー財団の皆様に、心より感謝申し上げます。今期は実務に近い形での学習を通じて、自分自身の成長を実感することができました。

今後も、与えられた機会に感謝しながら、学業・キャリア・国際交流の全てに全力で取り組み、次回の報告書ではさらに大きな成果をご報告できるよう努めてまいります。

久保 尚美